

## 1 主題名 役割の自覚 4-(3) 集団への参加と責任

## 2 資料名 そうじ班長のなやみ(日本標準)

## 3 主題設定の理由

## (1) ねらいとする価値について

人間社会は、みんなとつながり合って成り立っている。民主的な社会を構成する上で、集団に個がどうかかわり、主体的に参加していけるのかということが重要になってくる。最高学年になり、リーダーとして活動が始まったこの時期の児童、また、その先の中学校生活に向けて、集団における自分の位置や役割を自覚して責任を果たし、主体的に協力しようとする心情を養いたいと考え、本主題を設定した。

## (2) 児童について

最高学年になり、学校生活において、いろいろな場面でリーダーシップを発揮しなくてはならなくなってきた。集団登校、縦割り班、清掃活動などで、6年生から1年生までを含んだ縦割り班での活動が多く行われ、6年生は班長として奮闘しているところである。

事前アンケートからは、縦割り活動において、がんばっている様子が伝わってきた。それと同時に、班長などの責任者となって困ったり、悩んだりしている児童も多数みられた。そうした児童に、資料を通して、最高学年としての役割の自覚、責任について深く考えさせ、今後とも協力して責任を果たそうとする心情を養っていききたい。

## (3) 資料について

本資料の主人公の「わたし」は、そうじの班長になるが、1年生の清掃指導が思うようにいかず悩んでいる。それでも、何とかしてやり遂げるのだという固い決意で、悩みながらも自らの手で解決しようと努力する。その過程で、1年生の頃の自分が班長に迷惑をかけたことや、先輩の班長の立場を思い出し、6年生としての自覚が生まれてくるのである。

清掃活動に関しては、同様な悩みを持っている児童もいると思われるので、自分の経験と重ね合わせながら考え、自分の役割を自覚し、協力して責任を果たそうとする心情を育てるのに適した資料である。

## (4) 指導について

事前に、6年生になってからのがんばりや責任者として困ったり、悩んだりしていることを把握しておきたい。

本時では、「わたし」が、そうじの班長になって、どんなことで悩んでいるのか、その悩みをどのように解決しようとしたのかを話し合わせたい。中心発問では、「わたし」の思いの変化に気づかせ、本校の研究テーマ「思いをふくらませ 学び合い高め合う子どもの育成」を受け、それぞれの思いをグループで十分話し合わせたい。そして、自分たちなら、班長の悩みをどう解決するか自分の経験と重ね合わせながら考えさせたい。その後、一人一人に役割を自覚させ、責任を果たせるよう、ワークシートに自分の考えを書かせ、実践へとつなげたい。終末では、リーダーとしての自覚を持ち主体的に責任を果たした卒業生のお話を聞かせ、実践意欲を高めたい。

今後の活動も注意深く見守り、悩みについてはみんなで助言し合い、クラス全員が最高学年としての自覚を持ち、責任を果たしていけるよう支援していききたい。

## 4 本時のねらい

身近な集団に進んで参加し、自分の役割を自覚し、協力して主体的に責任を果たそうとする心情を育てる。

## 5 準備物

ワークシート、卒業文集

6 本時の展開

過程	主な発問と予想される児童の反応	支援（・）と評価（☆）
気づく	<p>1. 班長などの責任者となって困ったり、悩んだりしたことなどを話し合う。</p> <p>○みなさんが、班長などの責任者となって困ったり、悩んだりしていることは、どんなことでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・集団登校で、注意を聞けない子がいて困る。</li> <li>・そうじで、うるさい子がいて、注意しても聞いてくれないので困る。</li> <li>・今までの6年生のようにみんなをうまくまとめられるか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・班長としてがんばって解決したいと思っていることを出し合うことで、価値への方向付けを図る。</li> </ul>
考える・深める	<p>2. 資料「そうじ班長のなやみ」を読んで話し合う。</p> <p>○「わたし」は、そうじの班長になって、どんなことで悩んでいるのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・そうじ場所に1年生が3人もいて、まさゆき君はなかなかそうじを始めない。</li> <li>・ひとつの仕事が終わると次に何をするのか分からない。すぐ、聞きにくる。</li> <li>・そうじの仕方があらい。</li> <li>・反省会でみんなが並ばない。</li> </ul> <p>○「わたし」は、悩みをどのように解決しようとしたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どなって教室に入れた。</li> <li>・机を1, 2個ふいて手本を見せた。</li> <li>・一回に全部教えればよかったと思った。</li> <li>・大声でさげんで、どなった。</li> <li>・うでを引っ張った。</li> <li>・明日は、必ず並ばせてやるぞと思った。</li> </ul> <p>◎苦労しながら少しずつ問題を解決し、一週間が過ぎた頃、「わたし」にはどんな思いが生まれたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分も1年生のとき、班長を困らせたのだろう。</li> <li>・卒業生も、同じように悩んだのだろう。</li> <li>・先輩の班長は、きちんと自分の仕事を果たしていた。</li> <li>・「わたし」も、自分の仕事がきちんとできる班長にならなくては、と思った。</li> </ul> <p>○みなさんなら、この班長の悩みをどう解決しますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達や先生に手助けしてもらおう。</li> <li>・やさしく接していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・班長として困ったり悩んだりしている主人公の気持ちに共感させる。</li> <li>・班長として、1年生の3人を何とかがんばってそうじをさせたいと努力している姿や、あきらめないでがんばろうと考えている前向きな態度に気づかせたい。</li> <li>・班長としての責任を果たす中で、改めて6年生としての役割を自覚していった主人公の思いをグループで十分話し合わせたい。</li> <li>・自分の経験と重ね合わせながら考えさせたい。</li> </ul>
見つける	<p>3. 各自の悩みの解決のためにどんなことをしたいか考える。</p> <p>○あなたには、今どんな悩みがありますか。それを解決するために、どんなことをしたいと考えていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6年生としての自覚を持って、がんばっていく。</li> <li>・友達に相談したり、手助けしてもらったりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分自身をしっかり見つめさせるため、ワークシートに書かせたい。</li> <li>☆役割の自覚、責任について考えることができたか。（ワークシート・発表）</li> </ul>
高める	<p>4. 教師の話を聞く。</p> <p>○先生の話をお聞きしましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リーダーとしての自覚を持ち、主体的に責任を果たした卒業生のお話を聞かせ、意欲を高める。</li> </ul>

7 授業の観点

ねらいに迫るために、中心発問をグループで話し合わせたり、卒業生のお話を聞かせたりしたことは効果的であったか。